

| カデンツァ |

# CADENZA

石川県立音楽堂／オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌



OEKは邦楽ホールで  
「定期演奏会」の原点に立ち戻る

オーケストラ・アンサンブル金沢 特別定期公演

インタビュー ピアニスト 角野隼斗

# オーケストラ・アンサンブル金沢 特別定期公演プログラム

オーケストラ・アンサンブル金沢(以下、OEK)の今シーズンの定期公演は10月で終了。  
音楽堂コンサートホールのパイプオルガンが11月上旬～3月上旬の間に改修となるため、  
邦楽ホールに舞台を移し、特別定期公演を開催します。  
舞台と席の距離が近い邦楽ホールならではの刺激的な公演の魅力をどこよりも早くお伝えしましょう!

Jeroen Berwaerts



Alexander Melnikov



Ayano Yoshizaki



Tomoki Kitamura



## OEKは邦楽ホールで 「定期演奏会」の原点に立ち戻る

文=渡辺和(音楽ジャーナリスト)

**来**る冬シーズン、OEKは邦楽ホールで特別定期公演を開催する。発表された内容は、関係者も音楽ファンも驚くような内容。空前にして絶後かもしれない、本当に「特別」な「定期演奏会」である。

「定期演奏会」とは、アーティストとしての成果のみを目的とし自らのリスクで開催する、芸術団体として最も重要なコンサートだ。オーケストラ文化発祥の地では、同様な演奏会は「サブスクリプション・コンサート」などと呼ばれる。正に今時流行の「サブスク」で、「定期開催」という意味はない。実はこの呼称の違いには、歴史的意味が隠されている。

ヨーロッパ宮廷が楽士を雇い誕生したオーケストラは、近代市民社会となったこの2世紀弱の間に、サブスク権を購入した音楽好き庶民が支える組織となった。ところが1世紀半前に西洋音楽を移入した日本で、なんとかオーケストラを立ち上げた山田耕筰や近衛秀麿の前に、音楽をサブスクする多くの聴衆がいるはずもない。あちこちに頭を下げ、自腹を切り、なんとか資金を集め、自主運営することとなる。そんなパイオニア達は、生活とは別の純粋な音楽を続ける場として、「定期研究発表演奏会」を始めた。かくも志の高いコンサートが「定期演奏会」なる名称となり、今に至っている。

OEKの「特別定期演奏会」は、マーケティングや券売の視点からすれば非常識このうえない企てだ。お前らはワシの音楽を忠実にやればよし、とポディウムから睨む偉い巨匠はいない。舞台に出るだけで聴衆が熱狂するアイドルやカリスマもない。更には、プログラムに並ぶのは、誰も知らない、さもなければ、名曲ではあってもどこか地味な作品ばかり。

シューベルト歌曲伴奏からシュトックハウゼンのオペラ上演での超絶技巧ピアノ曲披露まで何でもござれのフランス鬼才、ベルリンフィル首席のポジションを捨て世界を広げるチェコホルン吹き、ショスタコーヴィチのピアノ協奏曲全2曲を一晩で演奏する夢を実現するロシア人。そして極めつけは、自分のために書かれた協奏曲を本邦初演し、おそらく過去に誰も挑戦したことないだろうブラームスのピアノ協奏曲第2番を弾き振りするニッポン青年……誇り高き「定期演奏会」の原点、ここにあり!

OEKの音楽家たちが集まり、信頼する仲間とやりたいことだけをやる姿を、眺めてみよう。邦楽ホールに座る貴方は、木戸銭を払い2時間の娯楽を買う「お客様」ではない。好き勝手するやんちゃな子供みたいな連中と、ニコニコしながら(あるいは苦笑しながら)付き合う仲間なのだ。そんな特別な「定期」があっても良からうに。

Radek Baborák



Hiroki Okazaki



Alphonse Cemin



# OEK SPECIAL SUBSCRIPTION CONCERTS

# 特別定期公演プログラム “聴くべき” かつ “面白がる” ポイントはここ!

文=戸部亮 / 音楽評論家

Vol. 1

2025 **11.14** (金) 19:00 **15** (土) 14:00

## 鬼才か際物か、アルフォンス・スマンの真価を問う

指揮: 岡崎広樹 (東京国際指揮者コンクール2024入賞)  
ピアノ: アルフォンス・スマン\*

ベートーヴェン / 「コリオラン」序曲 op.62  
ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15\*  
フォーレ / 「ペレアスとメリザンド」組曲 op.80 より シシリエンヌ  
ラヴェル / ピアノ協奏曲 ト長調\*

指揮者マキシム・パスカルの名は日本でもいよいよ知られるようになった。特に2019年東京二期会で上演された黛敏郎《金閣寺》、2021年ベルク《ルル》では見事にピット、舞台を仕切った。これらの成功は日本で彼の力を知らしめるものになったはずだ。マキシム・パスカルの実力のほどは2025/2026ミラノ・スカラ座の新シーズンでもドビュッシー《ペレアスとメリザンド》(ロメオ・カステルッチ演出)で指揮を執ることからもうかがえよう。

そのパスカルが国際的な注目を集めるきっかけとなったのが「ル・バルコン」。オーケストラが法人化、組織化されていくと経営や運営面、そこに集う人たちの処遇や待遇で有利なこと

も多いが、反面、旗振り役になるリーダーの理想——ときにはリーダーのエゴとみなされることもあるが——をひたすらに追求していくことは難しくなる。そのような障壁を乗り越えるべく、パスカルがピアニストや音響エンジニアの仲間たちと立ち上げたのが「バルコン」。その創設メンバーの一人がアルフォンス・スマンだ。

実は日本ではあまり知られていないアルフォンス・スマン。彼のピアノはダミアン・バスと組んだ多種多様な歌曲の録音が秀逸——ポップなジャケットもとても面白い!——だが、やはり才能の真価はライブでこそ確認するべきだ。鬼才か際物か。それをオーケストラ・コンサートで判断するには協奏曲、しかもタイプが異なる定番名曲2曲で品定めするのがベストだ。それを今回アンサンブル金沢は実現させる。ベートー



ヴェン「ピアノ協奏曲 第1番」、ラヴェル「ピアノ協奏曲」の名曲ピアノ協奏曲2曲。1回の公演でアルフォンス・スマンはいかなる才能なのかを見極めよう。

スマンと対峙する指揮者は岡崎広樹。東京国際指揮者コンクールの様子がYouTubeで確認できるが、真面目に棒を振り、オーケストラにも丁寧にオーダーしていく様子が見て取れる。指揮者は唯一無二の個性を、他者を通じて具現化していく仕事である。新しい才能にオープンマインドに向き合うアンサンブル金沢と才能が刻印された音楽が作れるか。そしてスマンの才能に対抗できるか。期待しよう。

Vol. 2

2025 **12.4** (木) 19:00 **5** (金) 14:00

## “破格の天才”バボラークを聴く愉悅に浸る

指揮・ホルン: ラデク・バボラーク\*  
バボラーク・アンサンブル\*\*

モーツァルト / 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲 K.527  
モーツァルト / セレナーデ 第6番 二長調 K.239「セレナータ・ノットウルナ」\*\*  
モーツァルト / ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K.447\*  
ドヴォルザーク / チェコ組曲 二長調 op.39

2席あるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のホルン首席。歴代伝説的ホルン奏者が座ってきた椅子だ。一つは「ホルンの王」シュテファン・ドールが君臨する。一方椅子のうちひと席は長らく空位が続いた。「王」ゆえに当然匹敵するもう一人はなかなか出現しなかった。しかし10歳代から破格の天才と言われ「ホルンの神童」と称されたラデク・バボラークがあっという間にその座を射止めたのは周知の事実。吹奏楽関係者にとってはすでにスター奏者だったバボラークがドールと二枚看板でスーパー・エリート・オーケストラをけん引していくと誰もが期待していた。

しかし飛びぬけた才能を持つ楽器奏者たちは一般人と感覚が違う。ある時、安住ポストを

捨て、しばしば指揮者に転身していく。自身が先天的に獲得している音楽性と指揮台に迎えている指揮者、二つの才能が対峙した時に自信の音楽性の高さが客観視されるのか。その結果、自分の才能を優先した音楽をしたいと思ってしまうのだろう。

こうして我々は世界的な楽器奏者を一人失う。バボラークの場合もそうなることを危惧したが、そうはならなかったのはありがたい。二人の天才ホルン奏者をベルリン・フィルで聴き比べる愉悅は失われたが、指揮する際は大抵吹き振りがセットになるのがお決まり。バボラークのホルンを聴く機会がずっと維持されているのはありがたい。天才ホルン奏者を聴く愉悅は維持されている。



ゆえに、当然のことながらモーツァルト「ホルン協奏曲第3番」が聴きものだ。バボラークのホルンを体験すると、「こんなに吹けるなんて!」と思ひ、ホルン奏者——というよりバボラーク——に憧れるか、絶対にこんなに巧くなって吹けないと思ってプロの演奏家を諦めるかの二択となる「危険性」はあるが、芸術とはリスクや一種の危うさがあるからこそ、魅力あるものとなる。それを楽しもう。もちろん彼が指揮するドヴォルザーク「チェコ組曲」とともに。

Vol. 3

2026 **1.30** (金) 19:00 **31** (土) 14:00

## “哲学的求道者”メルニコフ、OEKと聴衆に「感興」を与えられるか

指揮: 吉崎理乃 (東京国際指揮者コンクール2024第3位)  
ピアノ: アレクサンドル・メルニコフ\*  
トランペット: イエルーン・ベルワルツ\*\*

ショスタコーヴィチ / ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 op.35\*  
ハイドン / トランペット協奏曲 変ホ長調 VIIe:1\*\*  
ショスタコーヴィチ / ピアノ協奏曲 第2番 ハ長調 op.102\*



2025年はショスタコーヴィチ没後50年。ショスタコーヴィチと言えば、かつては「交響曲第5番」ばかりが取り上げられていた状況だったのが様変わり。弦楽四重奏曲やピアノ三重奏、ピアノ五重奏といった室内楽、ピアノ曲、映画音楽等々といった交響曲以外を通じて、作曲家の貌が浮かび上がってきた。

今回、アンサンブル金沢に登場するアレクサンドル・メルニコフも一役買う。すでに録音をして世界中で評判となった、全曲演奏するに2時間半はかかるショスタコーヴィチ「24の前奏曲とフーガ」をリサイタルで取り上げ、群馬交響楽団ではショスタコーヴィチ ピアノ協奏曲全曲を弾くなど作曲家の何面もある貌の一面を示してきた。日本ではアレクサンドル・メルニコフは どうして

も室内楽、名弦楽器奏者の伴奏者としてのイメージが先行した。イザベル・ファウスト、ジャン＝ギャン・ケラスと組んでリサイタルを各地で行い、彼らとの録音は現代を代表する演奏という評価をジャーナリズム界から得てきた。伴奏も評価されていたが、ようやくメルニコフ個人の異能の才に注目があつてきた。

ではアレクサンドル・メルニコフ、何が面白い。彼のピアノを聴くとこちら側も鑑賞中に思索を始めてしまうところだ。思索中、メルニコフのテクニクについて云々考えることはあまりない。メルニコフのピアノはそういうタイプのピアノではない。それよりなぜこのプログラミンにしたか、どのような観点で今日のピアノを選んだか、聴いているうちに聴く側に湧き上が

るイマジネーション、発見、疑問についてどうしてそう思うのかを考えるきっかけを与える。

感受着から、我々は彼のピアノを堪能して意識を高めながら考察する。そして曲や演奏会の終わりに近づくと、「ああ、だからあの箇所だ」という発見反応をもたらす。

そう、メルニコフは哲学的求道者なのだ。今回求道者に吉崎理乃が真正面から向き合せて、OEKと聴き手に感受から感興への反応を起こすことができるか、それが最大の聴きどころであると言える。もちろんイエルーン・ベルワルツのハイドン「トランペット協奏曲」も当然注目である。

Vol. 4

2026 **2.20** (金) 19:00 **21** (土) 14:00

## 日本初演の難物協奏曲に挑む俊英・北村朋幹の弾き振り

指揮・ピアノ: 北村朋幹

シューマン / 序奏とアレグロ・アパッショナート op.92  
ガルデッラ / マドレ(母)ーピアノとオーケストラのための (2023,日本初演)  
ブラームス / ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.83

つい最近まで国際コンクールで上位入賞者した海外若手ピアニストが受賞歴を引っ提げて、日本のオーケストラの定期演奏会のソリストやリサイタル、室内楽公演を行ってきた。聴き手もそれをありがたく聴き、「あのピアニストはいいね」「今はいいけど将来伸びるかは微妙」「向いているのは古典派よりも現代の方だね」など品定めしてきた。

しかしどうだろう。今、日本人ピアニストは人気。筆者の印象論であるが、今海外から来日するピアニストの絶対数は徐々に減ってきている。もちろん唯一無二性が高いピアニストは変わらず多くの人に望まれて来日公演を行っているが。

代わって日本のピアニストが次々と活躍して、人気を獲得している。コロナ禍で入国制限があった時期は海外アーティストが容易に来日できない

期間であった。そこで以前から実力はある日本のアーティストたちの価値によりやくわれわれは気づいたともいえるだろう。日本発で活躍する若き才能は世界水準だ。

北村朋幹も好事家にはすでにおなじみのピアニスト。多くのファンがつき、人気名曲を颯爽と弾くスター・ピアニストという感じではない。むしろ選曲、それらの構成を考えて、演奏家の思考を聴き手にも共有して、知的好奇心と一緒に探求していくこうとする姿勢がある。それが北村の演奏会を実に面白いものになっている。例えばケージのプリベアド・ピアノのための作品を取り上げたりリサイタル、20世紀邦人作曲家作品で構成された演奏会は内容、演奏ともに聴き手の頭と耳を満足させるものだった。



アンサンブル金沢ではガルデッラ作品の日本初演がまず注目。北村が所属するKAJIMOTOのサイトに北村が行ったガルデッラのインタビュー記事がアップされている。それも鑑賞前に北村がガルデッラに向けてのまなざし、ガルデッラの創作にあたっての考えに触れられる。ぜひ見てほしい。

ただそれだけではない。彼の弾き振りでシューマン「序奏とアレグロ・アパッショナート」、ブラームス「ピアノ協奏曲第2番」が取り上げられる。譜読みの速さに定評がある北村。優秀な指揮者でも手を焼く難物協奏曲を相手に、音楽家として能力が試されるとき。この公演は面白くなる。

全4プログラム 各2回公演 会場:石川県立音楽堂邦楽ホール

チケット・セット券のご案内

料金 ※表示価格はすべて税込価格です。

S席 5,000円/A席 4,000円  
 棟敷席 2,500円/すたあらいと席 1,000円  
 車椅子席 5,000円

※棟敷席は靴を脱いでお座りいただきます。  
 お席によっては他のお客様が視界に入り、見えづらい場合がございます。

超お得な「4公演セット券」

昼セット/夜セット(4公演S・A席限定)

S席 16,000円

通常料金より  
20%割引!



A席 12,800円

お得な割引制度をご用意しました!

定期会員割(S・A席のみ)

S席 4,500円/A席 3,600円

通常料金より  
10%割引!

◎シニア割(65才以上S・A席のみ)

S席 4,750円

A席 3,800円

通常料金より5%割引!

◎U25割(25才以下前日予約可)

全席種当日券半額

通常料金より50%割引!

※シニア、U25は要年齢証明書

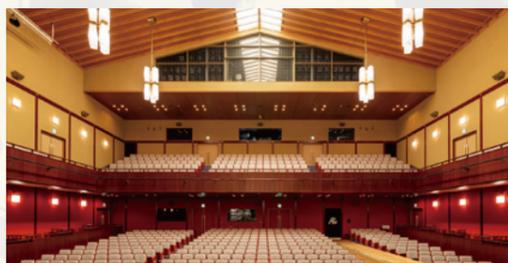
OEK定期会員先行発売

7/20(日)10:00~8/10(日)18:00

2024-25シーズンをお申込みいただいた定期会員の皆様のみがお申込みいただけるご予約です。お好きな席でよりお得にご購入いただけます。

※8/11~19はシステム休止中によりご予約・受付いただけません。あらかじめご了承ください。※会員様で先行期間が過ぎた場合でも8/20以降、定期会員割やセット券をお求めいただけます。

8/20(水)より一般発売開始



特別定期公演のお申込

石川県立音楽堂チケットボックス

TEL 076-232-8632

〈窓口〉9:00~19:00 〈電話〉10:00~18:00

※発売初日は10:00~

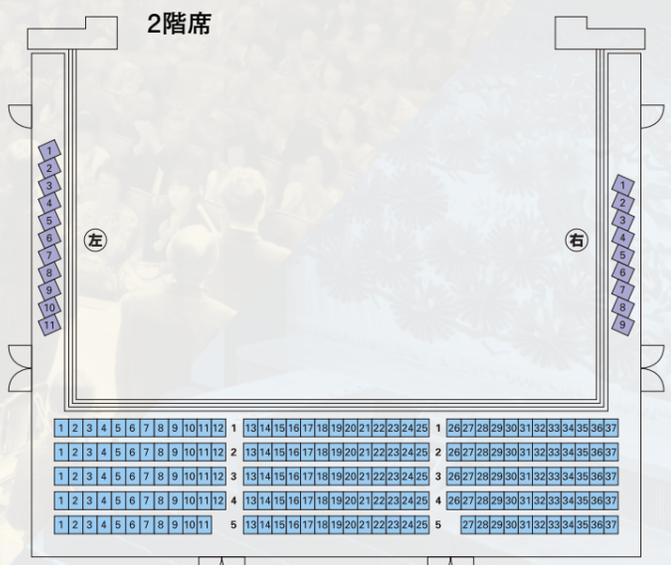
◎特別定期公演内容のお問い合わせ TEL 076-232-0171 〈電話〉10:00~18:00

▼OEK特別定期公演 邦楽ホール 座席表

S席 A席 棟敷席 すたあらいと席



2階席



WEBからも  
お申込みいただけます!

オーケストラ・アンサンブル金沢 公式HP

https://www.oek.jp/oek\_spsubscription

※受付初日10:00~



2026-2027新シーズンは  
4月スタート!  
9月下旬発表予定

岩城宏之メモリアル・コンサート

Kiroyuki Twaki Memorial Concert



2025年度 岩城宏之音楽賞受賞者

高野百合絵 特別インタビュー



高野百合絵(ソプラノ) Yurie Takano, soprano

富山県出身。東京音楽大学、及び大学院を首席で修了。佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2021「メリー・ウイドウ」主役ハンナ・グラヴァリに抜擢され、2023「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナに続き、2024「蝶々夫人」題名役を可憐な舞台姿と瑞々しい歌唱で喝采を浴びる。「サントリー1万人の第九」「テレジアミサ」「夏の夜の夢」「三角帽子」等のソリスト、ジルヴェスター/ニューイヤーコンサート等で主要オーケストラとの共演や各地でのリサイタルが好評を博している。CD「CANTARES」、「Cantar del Alma/魂の歌」を日本コロムビアよりリリース。NHK-FM「リサイタル・パッション」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」等のメディアに出演。2025年度 全国共同制作オペラ「愛の妙薬」アディナーで主演が決まっている。公式サイト <https://yurietakano.com/>

オーケストラ・アンサンブル金沢の創設とその後の活動を支え、音楽文化の発展に尽力した功績を称え、毎年開催されている岩城宏之メモリアル・コンサート。岩城宏之音楽賞受賞者とOEKとの共演&コンポーザー・オブ・ザ・イヤーの新作世界初演と「岩城イズム」を感じる1日です。今年度受賞された高野百合絵さんにお話を伺いました。

—岩城宏之音楽賞受賞の知らせをきいて、あらためていかがでしたでしょうか。

このたび大変栄誉ある賞を賜り、心より光栄に思っております。富山で音楽に出会い、育てていただいた私にとって、ゆかりある北陸でこのような賞を頂けたことは格別の喜びです。これまでの歩みを優しく照らしていただいたような思いで、今後の大きな励みとなりました。

—OEKとは北陸新人登竜門をはじめ共演を重ねられていますが、どんな印象をお持ちでしょうか。

大学院修了後に出演させていただいた北陸新人登竜門は、「学生」として守られていた環境を離れ、初めて「音楽家」として臨んだ特別な舞台でした。不安と期待が入り混じる中で迎えたあの瞬間は、今も心に残っています。それ以来、OEKの皆さまと一緒するたび、初心を思い出し、またここで歌わせていただけることのありがたさを噛みしめています。

—故郷に寄せる想いと公演に向けてのメッセージをお願いいたします。

金沢での公演は、地元で応援してくださる皆さまに直接音楽をお届けできる、私にとってかけがえのない機会です。今回は、岩城宏之音楽賞の受賞をご報告できること、そして音楽を通じて感謝の気持ちをお伝えできることを、心から嬉しく思っています。これまで大切に歌ってきた作品に加え、新たに挑戦したいレパートリーも選びました。いつも支えてくださっている皆さまへの敬意と恩返しを込めて、これからも音楽の探求を重ねながら、一つひとつの音に心を込めて歌います。ぜひ会場でお目にかかれましたら幸いです。

コンサートホール

9/6 [土] 14:00開演 (13:00開場)

岩城宏之メモリアル・コンサート2025  
 新曲委嘱作品初演 岩城宏之音楽賞受賞者  
 高野百合絵を迎えて

- 指揮:ユベール・スダーン
- ソプラノ:高野百合絵

花場富美子/悲しみの8つの断章(世界初演)  
 グノー/歌劇《ファウスト》より「宝石の歌」  
 ドヴォルザーク/歌劇《ルサルカ》より「月に寄せる歌」  
 マスネ/歌劇《エロディアド》より「優しく、心地よく」  
 ビゼー/交響曲 八長調

【全席指定】S席 ¥5,000/A席 ¥4,000  
 ビスタ席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,000  
 OEK定期会員 S・A席 ¥1,500割引

\*25歳以下の方50%割引  
 (前日予約可/空席ある場合に限り/要証明書類)



第18回北陸新人登竜門コンサート(声楽部門)(2019年5月19日)



2025年ガルガンチュア音楽祭より。共演した苗田博昭さんと。

7.5 (土)

## 2人のミューズとOEKが描き出す、 陰影に富んだ“音の絵画”

### 第495回定期公演フィルハーモニー・シリーズ

馴染み薄く曲のタイトルが並んでいるからといって、よもや敬遠など、なされませぬように。足を運ばれたなら、必ずや極上の体験ができること、お約束できよう。2人のミューズとOEKが描き出す、陰影に富んだ“音の絵画”の数々。終演後にホールを出た瞬間、目にする日常の風景すら、全く違った色彩を帯びるかもしれない。

ニル・ヴェンディッチェは、古典から現代に至る幅広いレパートリーを武器に、各国の一流楽団と共演を重ねる気鋭の女性指揮者。ピアニストで作曲家のファジル・サイとは、同じイタリア系トルコ人で親交が深く、彼の新作の初演も手掛けている。一方、ラトビア・リガ出身のクセーニャ・シドロワは、クラシック・アコーディオンの第一人者。彼女が紡ぐ、深い精神性を帯びた音色は、世界中の聴衆を魅了している。

ステージの幕開けを飾るレスピーギの「ポッティチェリの3枚の絵」は、ルネッサンスの名匠が描いた、有名なフレスコ画の三連作に材を得た。シンプルな楽器編成ながら、豪華で奥深いサウンドを引き出すあたり、まさに「オーケストレーションの魔術師」の面目躍如。極彩色の音画には、きっと耳を奪われるはず。

そして、アルゼンチン・タンゴを芸術の域にまで高めた立役者ピアソラが書いた、タンゴの主演バンドネオン(ボタン式アコーディオン)のための協奏曲。濃密なロマンティシズムに満たされた、さながら大人の夜

の光景だ。かたや、サイの「3つのバラード」は、セピア色の世界。元々はピアノ独奏作品だが、今回はアコーディオンと弦楽合奏で披露される。両作品とも、シドロワの切ない音色が琴線を揺らす。

フランス海軍士官でもあったイベールが、自作の劇付随音楽から編んだ「ディヴェルティスマン」は、さながら、彼が日常生活や、寄港先で目にした光景だ。時に別の作曲家の楽曲のバロディも交えつつ、自在かつ軽妙に活写されてゆく4枚の素描。皆さんの帰路の足取りも、きっと軽くなるだろう。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

色彩と陰影のショーケース。  
 コンサートはエンターテインメント!

- 指揮:ニル・ヴェンディッチェ
- アコーディオン:クセーニャ・シドロワ

レスピーギ/ポッティチェリの3枚の絵  
 ピアソラ/バンドネオン協奏曲「アコンカグア」  
 (アコーディオン版)

サイ/3つのバラード  
 イベール/室内管弦楽のためのディヴェルティスマン  
 【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000  
 ビスタ席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,000

\*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)  
 \*託児サービス



ニル・ヴェンディッチェ ©Alessandro Bertani  
 クセーニャ・シドロワ ©Dario Aposta

9.20 (土)

## 「新時代を担うピアニスト」と名匠が率いる OEKが起こす“化学反応”に期待

### 第496回定期公演フィルハーモニー・シリーズ

ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」に、ピアノ協奏曲第5番「皇帝」という王道のカップリングをして、「通俗名曲」などと侮るなかれ。いや、そんなことは、昨年9月の第484回定期公演フィルハーモニー・シリーズでのベートーヴェンを“体感”された方に対しては、きっと杞憂に過ぎないだろう。広上淳一とOEKは今回も、「名曲が名曲たる理由」を、鮮烈なる熱演で知らしめてくれるはずだ。

幅広いレパートリーの中でも、特にベートーヴェンを軸に据え、様々なオーケストラと変幻自在の快演を重ねて来た広上。OEKアーティスティック・リーダーに就任してからも、折に触れて楽聖の作品を取り上げている。今年3月に開かれた、広上にとって所縁の地である神奈川県茅ヶ崎市でのOEK公演も、オール・ベートーヴェン。小編成での気迫のこもった熱演は、関東の音楽ファンをうならせた。

楽聖が30代半ばで完成させた「田園」。「田舎に着いた時の大らかな気分」に始まり、楽しい宴や激しい嵐、自然への感謝が絵画のように綴られてゆく。風景や感情を具に表現する「標題音楽」の先駆者であり、変則的な5楽章構成や、それまで世俗音楽では用いられなかったトロンボーンの使用など、当時としては画期的な新機軸も盛り込まれている。広上とOEKは、このよく知られた傑作から、生まれたてのような、

瑞々しい響きを引き出してくれるだろう。そして、管弦楽による主和音の一打を背景に、煌めくカデンツァで幕を開ける「皇帝」。その愛称は、堂々たる楽想に相応しい。今回、そのソリストとして日本デビューを果たすのは、テルアビブ出身のトム・ボロー。イスラエル国内で開かれている全て(!)のピアノ・コンクールを制し、2019年1月にカティア・ブニアティシュヴィリの代役として、イスラエル・フィルとの共演するや、一躍脚光を浴びた逸材だ。目覚ましい活躍を続ける「新時代を担うピアニスト」は、名匠が率いるOEKとの共演によって、どんな“化学反応”を起こすのか。

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

広上淳一の「田園」。  
 世界の熱視線を浴びるボロー、  
 日本デビューの「皇帝」

- 指揮:広上淳一(OEKアーティスティック・リーダー)
- ピアノ:トム・ボロー

ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」  
 ベートーヴェン/交響曲第6番「田園」  
 【全席指定】SS席 ¥7,000/S席 ¥6,000  
 A席 ¥5,000/ビスタ席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,500  
 \*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)  
 \*託児サービス



広上淳一 ©Michael Pavia  
 トム・ボロー

7.19 (土)

## 気鋭の作曲家たちの“労作”を広上率いるOEKが魅力を掘り下げる

### ファンタスティック・オーケストラコンサート Vol.4

NHKの大河ドラマのテーマ音楽とは、過去の物語に付されたものでありながら、実は“現在を映す鏡”でもあるのかもしれない。1年間のドラマの冒頭を飾る音楽。わずか3分ほどで、ストーリー全体のイメージを指し示すに留まらず、毎週繰り返し、耳にしてなお、聴き飽きることのない清新さを求められる。

そんな難題に、どれほどの気鋭の作曲家たちが果敢に挑み、見事に答えてきたことか。今回のファンタスティック・オーケストラコンサートは、60曲以上の“労作”の中から、大河ドラマをこよなく愛するOEKアーティスティック・リーダーの広上淳一が、林光による「国盗り物語」(1973年)から、冬野ユミの「光る君へ」(2024年)まで、9作を厳選。広上のタクトとOEKの生演奏で、純粋な芸術作品として、味わってもらおうという趣向だ。

そして、取り上げられる楽曲のうち、「黄金の日」(1978年)と「独眼竜政宗」(1987年)を手掛けた池辺晋一郎、「利家とまつ」(2002年)の渡辺俊幸という2人の作曲家も登場。「利家とまつ」で家臣の前田長種役を演じた俳優の辰巳琢郎を交えて、作曲と演技手という双方の立場から、大河ドラマのテーマ音楽の魅力について掘り下げる。

実は、加賀百万石の祖の姿を生き生きと描いた「利家とまつ」では、ゆかりの地のオーケストラとして、OEKが本放送でのテーマ音楽や劇伴の演奏にも参加。大河ドラマの音楽へのNHK交響楽団以外の起用は非常に珍しい、話題となった。今回は、メインテーマだけでなく、辰巳の娘でソプラノ歌手の真理恵をフィーチャーしての「永遠の愛 アリアバージョン」など、劇伴を含めた組曲の形で、たっぷり楽しめる。

懐かしいものから、まだ強く耳に刻まれているものまで。幾多の名演を生んできた広上とOEKのコンビが創出する、音によるスペクタクル。あなたの記憶を呼び覚まし、映し出す“鏡”ともなるかもしれない。



広上淳一

コンサートホール 14:00開演(13:00開場)

大河ドラマ大好き人間、  
 淳一こだわりのテーマ集!

- 指揮:広上淳一(OEKアーティスティック・リーダー)
- スペシャルゲスト:  
 辰巳琢郎(「利家とまつ」前田長種役出演)  
 池辺晋一郎(「独眼竜政宗」「黄金の日」作曲)  
 渡辺俊幸(「利家とまつ」作曲)
- ソプラノ:辰巳真理恵

渡辺俊幸/利家とまつメインテーマ  
 林光/国盗り物語  
 池辺晋一郎/独眼竜政宗  
 服部隆之/真田丸  
 冬野ユミ/光る君へ ほか

【全席指定】SS席 ¥6,000/S席 ¥5,000/A席 ¥4,000  
 ビスタ席 ¥3,000/スターライト席 ¥1,000  
 \*25歳以下の方は当日券50%オフ(前日より予約可/要証明書類)  
 \*託児サービス



池辺晋一郎 渡辺俊幸 辰巳琢郎 辰巳真理恵 渡辺俊幸



# CLOSE-UP PEOPLE

## 音楽堂リサイタルシリーズ Vol.5 イタリアンカンツォーネ&オペラアリアの世界



### Hiroaki Fueda 笛田博昭さんインタビュー

—5月のガルガンチュア音楽祭ではオープニングコンサートや紅白歌合戦など数多くの公演にご出演いただきました。

音楽祭やほかの公演も含め、音楽堂コンサートホールでは何度も歌ってきました。リハーサルで歌うより、お客様が入ったほうが声が綺麗に響き感じますね。今回はタイプの違う2人のテノールがピアノとともにカンツォーネとオペラアリアを歌います。

—共演する秋川雅史さん、河原忠之さんについて

最初は地元の新潟でコンサートをする際に、一緒にやってみたくて僕からお願いをしたんです。「千の風になって」を作詞された新井満さんは新潟のご出身というのも縁を感じて。大変気さくな方で快くお引き受けいただきました。共演して実感しましたが、本当に素晴らしいエンターテイナーなんです。舞台上立って自分をどう魅せたいかよくわかってらっしゃる方。僕とはまったく違うタイプのテノール歌手でとても刺激を受けました。ピアノの河原忠之さんは歌い手にこうスーッとこう寄り添ってくれる方。呼吸を合わせてくれるのはもちろん、打ち合わせをしなくても「どう歌いたいのか」を汲み取ってくれるんですよ。本当に歌手にとって代えがたい、素晴らしい音楽性を持ったピアニストです。

—今回のプログラムはどう選曲されたのでしょうか

お互いに歌いたいものを選びました。カンツォーネ・メドレーとして「フニクリフニクラ」や「オーソレミオ」など皆さんがよく知っている曲も演奏しますが、「運命の力」や「情熱」などはコアなクラシックファンじゃないと聴き馴染みのない作品も歌います。でもね、この公演ってチャレンジしやすい価格だから聴いたことがない、難しいと思うとしても、まずは僕たちの声の「響きのシャワー」を浴びに来てほしいのです。



秋川雅史



河原忠之



まずは僕たちの「声の響きのシャワー」を浴びに来てほしい

—音楽祭でも本当に声がホールに響き渡ってましたよね。本場イタリアの香りがするのでしょうか…

そう思うと僕たちというのね、僕の声って「立体的」なのかもしれない。単に大声を張り上げているわけじゃなく、マイクを通さずに体全体を使って出した声ホールに共鳴するっていうこと。人間ってすごい声を出せるんだって体験してほしいのです。

あとは周りから見ると、僕は発天荒な生き方をしているそうなのだけだ(笑)、それが表現として出ているのかな—生き様というか人間性が出ているんだと思います。良い声な方はたくさんいるけど、それだけだときつと飽きられちゃう。意図せずしみ出るものがあるからこそ「立体的」になるわけで、海外の歌手はそういう力に長けている。本場の香りがするのはそのおかげかもしれません。ぜひ体感しに来てください!

### 笛田博昭 (テノール)

Hiroaki Fueda / Tenor

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第9回マダム・パフライ世界コンクール及び第50回日伊声楽コンクール第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位、その際にフェッラーラ歌劇場にて「イル・トロヴァトーレ」マンリーコ役でイタリアデビューを果たす。イタリアの輝きをもつ豊かでドラマティックな声と、日本人離れしたスタイリッシュな歌唱フォームは比類なく、日本屈指のプリモテノールとしての地位は揺るぎない。2023年6月/パレルモ・マッシモ歌劇場の引越公演では、急速代役として「ラ・ボエーム」のロドルフォ役で出演し、鳴り止まぬ大喝采を浴びた。2017年よりNHK ニューイヤーパーラコンサートに出演。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。



7/21 [月祝] 14:00開演 (13:15開場) コンサートホール

### 音楽堂リサイタルシリーズ Vol.5 イタリアンカンツォーネ&オペラアリアの世界

○テノール: 笛田博昭、秋川雅史  
○ピアノ: 河原忠之

タリアフェッリ/情熱  
カンディッロ/カタリ・カタリ  
ヴェルディ/歌劇「運命の力」より(天使のようなレオノーラ) ほか  
【全席指定】S席 ¥3,000/A席 ¥2,000/B席 ¥1,500 託児サービス

## INTERVIEW

# アマデウスが語る美しき魔笛 天沼裕子インタビュー

—「美しき魔笛」はこれまでも再演を重ねてこられた作品。今回の公演でなにか新たな要素はございますか?

恋に堕ちた王子や、死を以て平安を望む王女。復讐に執着する女王と、敵対するザラストロの権力誇示。これら対立するテーマの欠片を、愛すべきパパゲーノと作曲家自身が拾い繋いでいく構成は、これまでと同じ。今回は、和的モンティ・パイソンというか、かなりコメディの要素が膨らみました。

—昨年の「少年オルフェ」と同様、小中学生に向けたコンサートとして「歌芝居」を選ばれた理由は?

歌芝居形式とは文字通り、歌あり、芝居ありです。オペラの筋を音楽だけで紡ぎ出していくと膨大な時間を要します。しかし、セリフが入れば、内容が凝縮され、わかりやすくなります。歌芝居とは要するに、双方のいいところ取りです。モーツァルトがもしあと数年生きていたら、もう一作、歌芝居を書いていただろうと想像します。

—子どもたちに向けた作品を多く上演してこられただけでなく、後進の指導にも長年あたられています。今の若い世代に対して変化を感じられた点はございますか?

この質問には、多くの回答が生まれ、さらに回答が分岐していくと思われまので、敢えて一点のみ申し上げます。今の若い世代への「外圧」が強くなった感があります。達成までの道のりやコスパを理由に、今の若い世代は、やりたいことを選択や継続に、早期決断を迫られるケースが多くなっているのでは。社会があるべき姿は、個性を見守り、支えていくことだと思います。「二つの罪がある。一つは、自分の才能を発揮しないこと、もう一つは他人の才能を邪魔すること」といいます。この二つ

の罪を、社会が犯してはならないでしょう。

—映像作品を早送りしながらみる人が少なくない世の中ですが、だからこそ舞台芸術の重要性が問われるように思います。舞台からどういふものを子どもたちに体験してほしいと思われませんか?

それは、ズバリ、「間」です。舞台上の音楽や芝居における「間」は、描写しようのない、言語化が非常に難しい無音のエネルギーです。実際、瞬き程度の瞬時のことなのですが、身体がふわっと浮くような不思議な感覚が生まれます。その瞬間は、上演中、随所に現れるものではないので、是非、その瞬間をキャッチして、考えたり、味わってほしいと思うのです。数か月、よい後味を楽しめます。

邦楽ホール  
8/16 [土] ①11:00開演 (10:30開場)  
②14:30開演 (14:00開場)

### 小中学生のためのコンサート 天沼裕子プロデュース アマデウスが語る美しき魔笛

- 構成: 天沼裕子
  - 演出: 天沼裕子、武井雷俊
  - 出演: アマデウス: 村松恒矢 (バリトン・俳優)  
タミーノ: 寺尾貴裕 (テノール)  
パパゲーノ: 仲田尋一 (バリトン)  
ザラストロ: 目黒知史 (バス)  
夜の女王・他: 三箇二千夏 (ソプラノ)  
バミーナ・他: 斉藤真歩 (ソプラノ)  
アンサンブル・ピアノ: 松本隆彦
- モーツァルト/オペラ「魔笛」  
【全席自由】一般 ¥2,000 / 中学生以下 ¥1,000



Yukiko



Amamuma

# 超絶技巧! 魅惑のジャズ!! 聴きどころ



Chihiro Yamanaka

オーケストラ・アンサンブル金沢の本拠地でもある広大な音楽堂コンサートホールで、贅沢に少人数での濃密な演奏が楽しめる「音楽堂リサイタルシリーズ」。これまでも小山実稚恵や郷古藤、小曾根真など錚々たるアーティストが観客を魅了してきたが、8月に迎えるVol.6は魅惑のジャズ! ニューヨークを拠点に世界で活躍するジャズ・ピアニスト、山中千尋が登場する。

米国パークリー音楽院を首席で卒業した山中千尋は、国内では澤野工房から「Living Without Friday」で、海外では名門レーベルDeccaレコードからデビュー。以来、発表される作品は常にジャズ・チャート1位となり、精力的に世界各地でライブ活動を続けている。

ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているピアニストの今を楽しみに音楽堂へお越しください。

山中千尋 (ピアノ)  
ニューヨークを拠点に世界で活躍するジャズ・ピアニスト。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持ち、初の日本女性ジャズピアニストとしてデッカレーベルと契約し全米デビュー。世界の主なジャズフェスティバルや、カーネギーホール、ケネディーセンター、リンカーンセンターなどにも出演。米ダウンビート紙、英ガーディアン紙でも絶賛を受ける。NHK交響楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団との共演も多数。24年10月には、26枚目のアルバム「Carry On」(Blue Note)をリリースした。

8/24 [日] コンサートホール

14:00開演 (13:15開場)

### 音楽堂リサイタルシリーズvol.6 圧巻の技巧! 「未来へ」をテーマに 名曲と超絶技巧! 魅惑のジャズ

○ジャズピアノ: 山中千尋  
○ドラム: 橋本現輝 ○ベース: 畠山令

プログラム当日発表!  
【全席指定】S席 ¥3,000 / A席 ¥2,000 / B席 ¥1,500  
\*邦友会・OEK定期会員は10%割引 (S席のみ) \*託児サービスあり



超絶技巧! 8.24

# 「邦楽と舞踊の会」の魅力とみどころ 村上湛 (音楽堂邦楽主幹、明星大学教授)

毎年恒例「邦楽と舞踊の会」残暑の時季の開催となりましたが、今回も石川県立音楽堂でなければ実現しない豪華な番組で皆さまのご来場をお待ち申します。

## 邦楽の魅力

毎々申し上げますように、日本舞踊は立方(舞踊手)だけでは成り立ちません。優れた地方と下方(絃楽と声楽の演奏+助演の囃子方)による素晴らしい音楽が不可欠です。

### 長唄「老松」

世阿弥の作った能の名曲に基づき、寿命長遠と家内繁栄を祝福する長唄の名曲(老松)は文政3年(1820年)初演。江戸歌舞伎に不可欠の劇場音楽として発展した長唄(江戸長唄)の系譜とは一線を画し、富豪の注文による特製曲として生まれた経緯から「猥雑な芝居から独立した、上品な家庭音楽」として長唄の一側面を拓いた記念碑的な作品でもあります。

### 長唄「座敷舞道成寺」

そうした長唄本来の劇場音楽としての性格をも顕著に示す名曲(京鹿子娘道成寺)は宝暦3年(1753年)初演。歌舞伎芝居における女形舞踊曲の最高峰として屹立する大作です。この(娘道成寺)の音楽をそっくりそのまま、歌舞伎舞踊とはまったく技法の異なる上方舞の地方として用いた驚異の創作が(座敷舞道成寺)。演題は吉村流四世家元・吉村雄輝(1923~98年)の命名と伝えられます。

### 長唄「君が代松竹梅」

いっぽう、「上品な家庭音楽」としての長唄音楽は江戸末期以降も隆盛を誇ります。同趣向の(君が代松竹梅)は天保14年(1843年)初演。詞章は松竹梅のめでたさに能(羽衣)(井筒)の面影を加え、高雅にして華麗な作曲が施されています。

### 常磐津「将門」

歌舞伎舞踊の中でドラマ性が最も前面に出た名作(忍夜恋曲者)俗称(将門)は、「歌う」長唄とは異なり「語る」浄瑠璃・常磐津節の代表作。天保7年(1836年)江戸・市村座で歌舞伎芝居(世善知鳥相馬旧殿)の最終場面として初演されました。皇位簪奪を志して果たせず敗死した革命家・平将門の娘、瀧夜叉姫が、得意の妖術を尽くして艶麗な遊女に化け、朝廷から派遣された追捕の勇士・大宅太郎光圀を手玉に取る、幻想怪奇の一大傑作です。

## 多彩な演者に多彩な味わい

### 尾上菊紫郎

衣装を着けず化粧も濃くない「素踊り」は舞踊手の「素の姿」がそのまま出ますから、難しいと同時に、その人の芸の真味が堪能できます。尾上菊紫郎は今や尾上流の重鎮ですが、その「重鎮」の名が良い意味で似合わないほど若々しく艶やかな芸の持ち主。先年、私は(山姥)の名演に驚嘆したことがあり、その偉大なる品格を本日の(老松)でも存分に示してくれることと思います。

### 吉村古ゆう

先師・吉村雄輝の晩年、舞台の後見といえれば必ず門弟・吉村古ゆうでした。孫と子ほど世代は隔たるにもかかわらず、佇まいから身のこなしまで文字どおり「形、影、相和す」といった風情で、「後ろから見たら、どちらが誰か分からなかった」とは、文化勲章・人間国宝の箏曲家、山勢松韻さんの直談。抜群の技術と清濁あわせ呑む懐の深い芸をこの上もない品位を保ったまま舞台上に具現化した名人・雄輝の厳しい直伝を受けた今回の(座敷舞道成寺)に、全国の見巧者の目が集まります。



吉村古ゆう

尾上菊紫郎

### 金沢三廓芸妓連中

ひがし・にし・主計町「三廓」連合で囃子入りの長唄演奏「素囃子」は、既に金沢名物と言っても過言ではありません。偉大なキャリアを誇る小千代姐さんを立て唄(主唄者)据え、金沢芸妓衆の日ごろの技芸をご堪能頂きます。

### 藤間蘭黄

(将門)の振付には何種類もあり、うち、これを最大の当たり狂言の一つとした亡き中村歌右衛門が終生守ったのは、厳格な「代地」藤間藤子の振りでした。今回はその名手・藤子の孫にあたる藤間蘭黄の光圀による、もちろん「代地」の振りの(将門)です。

### 中村時藏

対する女形の大役・瀧夜叉姫は、先ごろ六代目を襲名した中村時藏が初役で勤め、これは今年の梨園の大きな話題でしょう。古風な至芸で知られた曾祖父・三代目以来、父・萬壽も得意としたこの難役が今回どのような初花を開くか。今から楽しみでなりません。

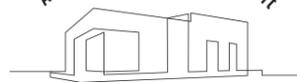


8/9 [土] 14:00開演(13:15開場) いざ、日本の美—音楽堂 邦楽と舞踊の会 邦楽ホール

- |  |  |   |   |  |
|--|--|---|---|--|
| <p>長唄「老松」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○立方:尾上菊紫郎</li> <li>○唄:松永忠次郎、杵屋佐喜 杵屋正則</li> <li>○三味線:松永忠一郎 今藤政十郎 杵屋直光</li> </ul> | <p>長唄「座敷舞道成寺」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○立方:吉村古ゆう</li> <li>○唄:松永忠次郎、杵屋佐喜 杵屋正則</li> <li>○三味線:松永忠一郎 今藤政十郎 杵屋直光</li> </ul> | <p>素囃子「君が代松竹梅」金沢三廓芸妓連中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○唄:小千代、かず弥、まゆ、純子、笑弥</li> <li>○三味線:仁美、福太郎、ゆき葉、きみ代、若奈</li> <li>○笛:あき乃、唐子</li> <li>○小鼓:真砂美、桃太郎、七葉、紗や、すず七</li> <li>○大鼓:ぼん太</li> <li>○太鼓:小梅、うた子</li> </ul> | <p>常磐津「将門」忍夜恋曲者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○立方:中村時藏、藤間 蘭黄</li> <li>○浄瑠璃: 常磐津一佐太夫、常磐津和英太夫 常磐津千寿太夫、常磐津佐知太夫</li> <li>○三味線: 常磐津菊寿郎、常磐津菊与志郎、岸澤瀧佐志</li> </ul> | <p>○囃子:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤倉呂英、藤倉清之 望月正浩 藤倉呂近、藤倉英心 藤倉英佳</li> <li>○笛:福原徹彦</li> </ul> |
|--|--|---|---|--|

【全席指定】S席 ¥6,000/A席 ¥5,000/B席 ¥2,000 \*邦友会・OEK定期会員は10%割引(1会員につき1枚、B席を除く)

Artist meets Kanazawa craft



金沢百番街



石川県立音楽堂

自分の世代にしか  
できない何かを  
追求し続けたい



撮影協力:魚菜屋 能登の地魚井

## ピアニスト 角野隼斗 (千葉県出身)

今日は海鮮丼をとっても楽しみにしていました。お魚の新鮮さはもちろん、お店独自のお醤油が特徴的ですごくおいしかったですね。金沢には学生時代、プライベートで訪れたことがあって、そのときはお寿司を食べました。兼六園や21世紀美術館を訪れたり、金箔がのったアイスを食べたり…観光を満喫しましたね。

その後、ソロツアーで何度も石川県立音楽堂で演奏していますが、弾いていてとても気持ちのいいホール。漆塗りの深い木の色が印象的ですが、こういう木の色って日本特有な気がします。海外だと明るくライトな色が多いですね。

ヨーロッパに行ったら次はアジアに行って、と時差を伴う移動をしていると、朝起きたときに「いまどこにいるんだろう」と思うこともあります。でも、そもそも同じ場所に2週間以上滞在することがないんですね。まとまったお休みなんて本当に珍しくて…ずっと演奏したり、レコーディングがあったり。だから何気ない日常が嬉しくなるといいますが、演奏をし続けるのは本当に楽しい。

いろんな所に行けていろんな人に会える…今日みたいに海鮮丼も食べれて(笑)。忙しい日々の中で常にアウトプットをしながらインプットして、アウトプットだけにならないようにしていますね。自分ができていることをやるのは当然として、自分ができないことを学ぶっていうことを大切にしています。

今回はオーケストラ・アンサンブル金沢と共演したグルダも、日本トップレベルの奏者と一緒にできる中で即興の会話の引き出しを増やしてもらっている気がしますね。石若駿さんもマーティ・ホロベックさんもプラン立てなくて絶対何とかなるという、お互いの信頼があるからできることですが。クラシックは自分にとって一本の筋として確かにありますが、ジャズや映画音楽などジャンルを問わず演奏するスタイルを持ち、新しいことに挑戦することが受け入れやすくなっている時代に生きています。その中で何か自分にしかできないものを見つけたい、追及したいという思いは強く持っていますね。

### ▶ Profile

#### 角野隼斗 (すみの はやと)

2018年、ピティナ特級グランプリを受賞。2021年、ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。これまでにシカゴ響、ウィーン放送響、ポーランド国立放送響、ポストン・ポップス、N響、読響など、国内外のオーケストラと共演。2025/2026シーズンには、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、BBCフィルへの客演が予定されている。2024年、日本武道館で単独公演を開催、同会場におけるピアニストの史上最多動員13,000人を記録。さらに、ロイヤル・アルバート・ホール、ベルリン・フィルハーモニーをはじめ、世界各地での公演を成功させ、国際的な知名度を急速に高めている。2025年11月には、カーネギーホール大ホールでのソロリサイタルデビューが予定されている。その他にも、コンサートヘボウ、ウィーン・コンツェルトハウス、エルブリングハーモニー、Kアリーナ横浜での公演も予定している。「Cateen(かていん)」名義で活動するYouTubeチャンネルは登録者数148万人超、再生回数は2億回を突破。2024年、Sony Classicalと契約を締結し、「HumanUniverse」をリリース。東京大学総長大賞、レナード・バースタイン賞、日本ゴールドディスク大賞「クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー」を受賞。現在、ニューヨーク在住。  
https://hayatosum.com/

### — SHOP INFO —

#### 魚菜屋

石川県金沢市木ノ新保町1-1  
金沢百番街「あん」と内

TEL 076-233-2217

【営業時間】11:00~21:00 (定休日) 不定休



# オーケストラ・アンサンブル金沢

セレクト  
会員

オーケストラ・アンサンブル金沢が  
自信をもってお届けする定期公演3シリーズの  
各ラスト公演を集めました!



OEK  
おすすめ!

人気公演のため、お申込みはお早めに♪

## ファイナーレ シリーズ!

プレゼントとしてもおすすめ!  
どなたでもご購入いただけます!

\\ お得なセット券 //

3公演 まとめて 5,400円~!

(3公演ともビスタ席の場合)

お電話またはネットにて  
お申込受付中!

最大定価の  
40%引き



♪ 公演毎に、SS席・S席・A席・ビスタ席よりお選びいただけます。  
♪ 座席図や料金表は、左の二次元コードよりご覧いただけます。  
♪ お電話でもご案内いたします。

ファイナーレシリーズスペシャル特典!

チケットボックスで使える 500円券 (音楽堂マネー) をプレゼント!

※一部の公演ではご利用いただけません。

No.1

2025年

7/19

14:00開演

ファンタスティック・オーケストラ  
コンサート Vol.4

指揮 広上淳一  
(OEKアーティストック・リーダー)  
ソプラノ 辰巳真理恵

ゲスト 辰巳琢郎 (俳優) 池辺晋一郎 (作曲家)  
渡辺俊幸 (作曲家)



歴代のドラマの中から広上淳一オススの  
8作品を厳選! 広上率いるOEKが  
放映当時の熱さ呼び起こします。

渡辺俊幸 : 利家とまつ  
林光 : 国盗り物語  
池辺晋一郎 : 独眼竜政宗  
冬野ユミ : 光る君へ ほか

No.2

2025年

10/4

14:00開演

第497回定期公演

指揮 川瀬賢太郎  
(OEKパーマネント・コンダクター)  
ソプラノ 種谷典子  
フルート マトヴェイ・デミン  
ハープ 高野麗音



OEKではなかなか聴くことのできない  
マーラーの交響曲を川瀬賢太郎が指揮!

モーツァルト: フルードとハープのための協奏曲  
ハ長調 K. 299  
マーラー : 交響曲 第4番 卜長調

No.3

2025年

10/24

19:00開演

第498回定期公演

指揮 ピエール・デュムソー  
ピアノ 務川慧悟



神を細部に宿すデュムソーの火の鳥。  
将来を囑望される人気ピアニストの一人  
務川慧悟のプロコフィエフ。

プロコフィエフ : ピアノ 協奏曲 第3番  
ハ長調 Op.26  
ストラヴィンスキー: バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)  
ほか

お問合せ & お申込みは

オーケストラ・アンサンブル金沢会員係

TEL.076-232-8571

[電話受付 10:00-18:00 (平日)] ※7/14 休館

ファイナーレシリーズ  
お申込みは  
こちらから!



石川県立音楽堂 オーケストラ・アンサンブル金沢

チケットのお求め 石川県立音楽堂チケットボックス (石川県立音楽堂1F) TEL 076-232-8632 (窓口) 9時~19時 (電話) 10時~18時

(公財) 石川県音楽文化振興事業団 石川県金沢市昭和町20-1 TEL 076-232-8111  
アクセス: JR北陸線 金沢駅兼六園口(東口)徒歩1分 / 北鉄バス 金沢駅下車

石川県立音楽堂HP  
https://www.ongakudo.jp



オーケストラ・アンサンブル金沢HP  
https://www.oek.jp

